

28 白子地域づくり協議会



この「白子」という地域は、参宮街道沿いに発達した古い町並みから始まり、その後西へと広がり現在に至っています。

また、白子地区には伊勢形紙・鈴鹿墨などの伝統産業や神社仏閣が多くあります。

白子地域づくり協議会では、このような歴史ある白子地区が、より安全安心な住みよいまちになることを目指して活動しています。

1

主な取組

白子地域づくり協議会では、「明るい未来を目指し、誰もが深くつながり合った豊かで安全安心な住みよいまち」を創ることを基本目標として掲げ、地域の人々と連携しながら活動しています。

主な取組みとしては、高齢者支援や子育て世代に焦点を当てたサロンの実施、白子海岸及び鼓ヶ浦海岸の清掃活動、親子で参加できるイベントの開催など様々です。



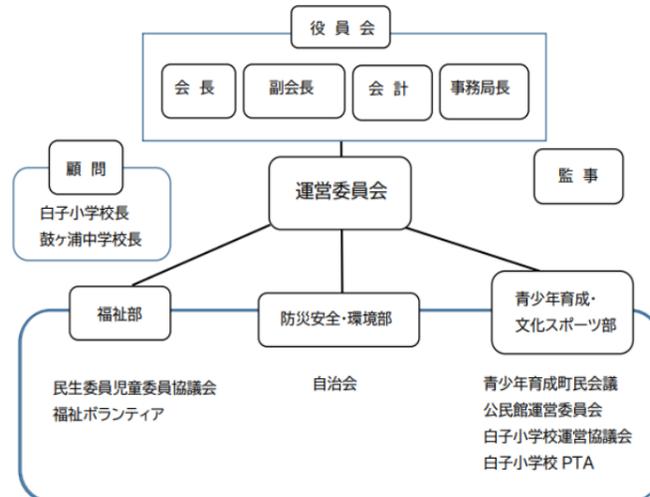
定期総会の様子

2

協議会の構成について

白子地域づくり協議会は、会長をはじめとする役員会と3つの専門部(福祉部、防災安全・環境部、青少年育成・文化スポーツ部)で構成されています。

専門部では、白子地区内の様々な団体が白子地域づくり協議会の一員として地域づくりに取り組んでいます。



3

運営委員会って、何をするの？

2か月に1回、役員をはじめ部長や副部長が集まる場です。

そこでは、各専門部の事業報告や今後の予定などを話し合い、調整を行っています。



定例の運営委員会の様子

会議で出た課題や思い



- ・これまでは個別に実施していた、白子・鼓ヶ浦・若松地区の海岸清掃を同一日に行うことで、地域のつながりをより強化できないか。
- ・専門部同士の連絡が不十分で、イベントの開催日や予備日がバッティングしてしまい、参加者が分散してしまうことがあった。
- ・高齢者等への支援のニーズが高まっている昨今、それらに関連した事業を始めるべきか。

会議で決まった今後の方向性

- ・海岸清掃について、各小中学校長と連絡を取り合い、実施日をそろえた。秋はイベントが多く日程調整が難しいが、来年度も同日開催を目指して調整していく。
- ・各専門部で連絡を密に取り合い、地区市民センターも連携して行事の開催日等を調整していく。
- ・地区の大きさに比例して事業の規模も大きくなると想定されるため、現状の事務局の体制のままでは始めることは難しい。
→高齢者等への支援事業に限らず、できることを少しずつ積み重ねていく。

事業に対する地域の方の思い



白子地区には、伊勢形紙をはじめとする独自の文化がたくさんある。それらを効果的に活用してもらいたい。



組織自体がまだまだ認知されていないと感じる。うまくPRしながら、幅広い世代を対象とした事業を期待したい。

活動の様子



海岸清掃



ハゼ釣り大会